

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討 報告書 (原案)

平成24年11月



国土交通省 北海道開発局

【注】

本報告書（原案）は、沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討にあたり、検討主体である北海道開発局が「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って検討している内容を示したものであり、後に国土交通本省に報告する「対応方針（案）」を作成する前の段階における北海道開発局としての（原案）に相当するものです。

国土交通本省は、北海道開発局から「対応方針（案）」とその決定理由等の報告を受けた後、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の意見を聴き、対応方針を決定することになります。

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書（原案）

－ 目 次 －

1. 検討経緯	P. 1-1
1.1 検証に係る検討手順	P. 1-2
1.1.1 治水（洪水調節）	P. 1-2
1.1.2 新規利水	P. 1-3
1.1.3 流水の正常な機能の維持	P. 1-4
1.1.4 総合的な評価	P. 1-4
1.1.5 費用対効果分析	P. 1-4
1.2 情報公開、意見聴取等の進め方	P. 1-5
1.2.1 関係地方公共団体からなる検討の場	P. 1-5
1.2.2 パブリックコメント	P. 1-7
1.2.3 意見聴取	P. 1-7
1.2.4 事業評価	P. 1-7
1.2.5 情報公開	P. 1-7
2. 流域及び河川の概要について	P. 2-1
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況	P. 2-1
2.1.1 流域の概要	P. 2-1
2.1.2 地形	P. 2-3
2.1.3 地質	P. 2-4
2.1.4 気候	P. 2-5
2.1.5 流況	P. 2-6
2.1.6 土地利用	P. 2-9
2.1.7 人口と産業	P. 2-10
2.1.8 自然環境	P. 2-14
2.1.9 河川利用	P. 2-18
2.2 治水と利水の歴史	P. 2-19
2.2.1 治水事業の沿革	P. 2-19
2.2.2 過去の主な洪水	P. 2-20
2.2.3 利水事業の沿革	P. 2-28
2.2.4 過去の主な渇水	P. 2-29
2.2.5 河川環境の沿革	P. 2-31
2.3 沙流川の現状と課題	P. 2-32
2.3.1 治水上の課題	P. 2-32
2.3.2 利水の現状と課題	P. 2-35
2.3.3 河川環境の整備と保全に関する現状と課題	P. 2-36
2.4 現行の治水計画	P. 2-42
2.4.1 沙流川水系河川整備基本方針の概要	P. 2-42
2.4.2 沙流川水系河川整備計画(直轄管理区間)の概要	P. 2-44

2.5	現行の利水計画	P. 2-45
2.5.1	水道用水計画の概要	P. 2-45
2.5.2	流水の正常な機能の維持の目標の概要	P. 2-45
3.	検証対象ダムの概要	P. 3-1
3.1	平取ダムの目的等	P. 3-1
3.1.1	平取ダムの目的	P. 3-1
3.1.2	名称及び位置	P. 3-3
3.1.3	規模及び型式	P. 3-3
3.1.4	貯留量	P. 3-4
3.1.5	取水量	P. 3-4
3.1.6	建設に要する費用	P. 3-4
3.1.7	工期	P. 3-4
3.2	沙流川総合開発事業平取ダムの建設経緯	P. 3-5
3.2.1	実施計画調査着手	P. 3-5
3.2.2	建設事業着手	P. 3-5
3.2.3	水源地域整備計画等	P. 3-5
3.2.4	基本計画告示	P. 3-6
3.2.5	用地補償基準	P. 3-8
3.2.6	建設工事の着手	P. 3-8
3.2.7	環境に関する手続き	P. 3-8
3.2.8	これまでの環境保全への取り組み	P. 3-9
3.2.9	地域文化保全への取り組み	P. 3-10
3.3	沙流川総合開発事業平取ダムの現在の進捗状況	P. 3-11
3.3.1	予算執行状況	P. 3-11
3.3.2	用地取得	P. 3-11
3.3.3	家屋移転	P. 3-11
3.3.4	付替道路整備	P. 3-11
3.3.5	ダム本体関連工事	P. 3-11
4.	平取ダム検証に係る検討の内容	P. 4-1
4.1	検証対象ダム事業等の点検	P. 4-1
4.1.1	総事業費及び工期	P. 4-1
4.1.2	堆砂計画	P. 4-4
4.1.3	計画の前提となっているデータ	P. 4-11
4.2	洪水調節の観点からの検討	P. 4-12
4.2.1	複数の治水対策案（平取ダムを含む案）について	P. 4-12
4.2.2	複数の治水対策案の立案（平取ダムを含まない案）について	P. 4-13
4.2.3	複数の治水対策案の立案	P. 4-39
4.2.4	パブリックコメントを踏まえた治水対策案の追加	P. 4-76
4.2.5	概略評価	P. 4-82

4.2.6 評価軸ごとの評価	P. 4-94
4.3 新規利水の観点からの検討	P. 4-117
4.3.1 ダム事業参画継続の意思・必要な開発量の確認	P. 4-117
4.3.2 水需要の点検・確認	P. 4-117
4.3.3 複数の新規利水対策案の立案等	P. 4-129
4.3.4 評価軸ごとの評価	P. 4-168
4.4 流水の正常な機能の維持の観点からの検討	P. 4-179
4.4.1 複数の流水の正常な機能の維持対策案の立案等	P. 4-179
4.4.2 評価軸ごとの評価	P. 4-228
4.5 目的別の総合評価	P. 4-237
4.5.1 目的別の総合評価（治水（洪水調節））	P. 4-237
4.5.2 目的別の総合評価（新規利水）	P. 4-242
4.5.3 目的別の総合評価（流水の正常な機能の維持）	P. 4-246
4.6 検証対象ダムの総合的な評価	P. 4-250
4.6.1 検証対象ダムの総合的な評価の結果	P. 4-250
5. 費用対効果の検討	P. 5-1
5.1 洪水調節に関する便益の検討	P. 5-1
5.2 流水の正常な機能の維持に関する便益の検討	P. 5-4
5.3 平取ダムの費用対効果分析	P. 5-5
6. 関係者の意見等	P. 6-1
6.1 関係地方公共団体からなる検討の場	P. 6-1
6.2 パブリックコメント	P. 6-12
6.3 意見聴取	P. 6-27
6.3.1 学識経験を有する者からの意見聴取	P. 6-27
6.3.2 関係住民からの意見聴取	P. 6-41
6.3.3 関係地方公共団体の長からの意見聴取	P. 6-63
6.3.4 関係利水者からの意見聴取	P. 6-63
6.3.5 事業審議委員会からの意見聴取	P. 6-64
7. 対応方針（原案）	P. 7-1
巻末資料 「費用便益比算定」参考資料	巻末-1